

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズソリス行徳 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日 ～ 2024年 12月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日 ～ 2024年 12月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性に合わせた丁寧で温かみのある支援の実施が行えている。	・スタッフ間で支援の進め方や役割分担を確認し、ミーティング時には振り返りを通して気づいた点や次回の支援の進め方を都度共有している。 ・職員それぞれが日頃から療育に関するアイデアを収集して日々活動を提供している。	・子どもの人数に応じて、それぞれの特性や課題を分けて支援を提供していく。 ・教室内ミーティングを通して支援内容のバリエーションを増やし、一人ひとりの発達段階や年齢に適した支援を提供していく。
2	・作業療法士を交えたアセスメントや支援の振り返りの実施している。	品質向上の為の研修を定期的に実施。	引き続き、作業療法士等と密に連携し品質向上を目指す。
3	・保護者からの相談に対してスタッフ間でミーティング、助言、保育園・幼稚園訪問の提案等、重点的に実施している。	相談があった際は、できるだけ早く対応できるよう体制を整えており、必要に応じて園や学校との連携も柔軟に行っている。訪問提案の際には、保護者の負担や意向に配慮することを意識する。	園・学校訪問の前には関係機関と情報を丁寧に共有し、訪問後は保護者・関係機関と振り返りを行うことで、支援の質のさらなる向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人数に対して、訓練室が狭い。	訓練室内のスペースに見合わない活動内容の実施が行われている。	活動スペース合わせた活動が提供できるように支援内容を検討する。
2	清潔な環境の維持に向けて、継続的な見直しが必要な状況である。	環境整備に関しては、スタッフ間での清掃業務の分担や基準に対する共通理解が不十分であったことが、清潔な環境の継続に繋がりにくかった一因と考えられる。	清掃業務における役割分担や基準をスタッフ間で明確に共有するため、日々の業務の中で具体的な担当箇所と清掃の目安を可視化し、定期的に確認・見直しの機会を設けることで、清潔な環境の維持を図っていく。

3	避難訓練の実施について周知方法	昨年度のアンケートを踏まえ、避難訓練を行う時には、「本日避難訓練実施」の掲示をしていたが、まだ周知が足りないことがある	今後は掲示に加えて、訓練実施後の保護者とのフィードバックの時間を活用し、訓練の内容や子どもたちの様子、ねらいを丁寧に共有する
---	-----------------	---	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズソリス行徳 児童発達支援

公表日 2025年3月27日

利用児童
数

2024年12月25日

回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	5	0	0	・人数、活動内容によっては狭く感じる。 ・本を読むスペースが狭そうに感じる。 ・6名程度子供が集まる目にはスペースが狭く感じる。ざわざわして集中できないこともある。	子どもの人数に応じて、それぞれの特性や課題を分けて支援を提供していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1	0	2	・一人一人に合った授業内容と先生方の丁寧で温かみのある対応に感謝しております。 ・職員が少ない日でも、事前準備や内容の工夫で適切な運営がされている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	20	1	0	4	・教室編みまで見ていないため不明。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	20	5	0	0	・水回りの汚れが気になる時があります。 ・イスが少しカタカタしていたり経年劣化があったりを見かけました。少し安全面、衛生面に不安があります。	・細部まで定期的に確認・見直しの機会を設けることで、清潔な環境の維持を図る。
適切な 支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が提供されていると思いますか。	21	3	0	1	・フィードバックや面談もとても丁寧で安心して子どもを任せられる。 ・親がどう接したらいいかなどの相談策も一緒に考えてくださりアドバイスをいただけてとても助かる。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と一致していると思いますか。	23	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に把握されていると思いますか。	23	1	0	1	・毎回提出している用紙の「家庭より」を見て色々な角度からアプローチしてもらっている。 ・親では気づかない様な事も多く、親の気持ちを汲んで頂けると思う。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供方法」が示されていると思いますか。	22	0	0	3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	3	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2	0	1	・もう少し数字やひらがなカタカナに触れるプログラムのバリエーションが増えるといいなと思います。	・数や文字への関心を育むことは今後の学習の土台となるため、子どもの発達段階に応じた形で、ひらがな・カタカナ・数字に触れられる活動のバリエーションを計画的に増やしていく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと関わり合っていると思いますか。	5	1	9	7		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明されていると思いますか。	25	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が提供されていると思いますか。	6	2	3	13		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況を確認していると思いますか。	22	2	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	4	0	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	2	1	8	14		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	18	2	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	22	0	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	12	1	1	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	0	2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニョ	17	2	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	12	1	1	10		
非常時等の対応	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等	21	1	0	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や	16	0	0	9		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	0	・送迎がある、もしくは自転車で通える範囲なら、このまま放デイでもお世話にならたいくらい毎週楽しみにしています。 ・書段からの先生方の対応のおかげもあり、療育へ行くことを嫌がったことが1度もありません。本当に感謝しております。	
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	21	4	0	0	・集団支援でも、勉強系(書き方など)も行っており、多い日は6〜7人子供がおり、その中での活動はザワザワするし落ち着かないです。また、絵り絵や制作が多クルーティン化しています。 ・先生方は明るくて優しく、よくやってくださり感謝しています。	・多人数での活動時にさわつきや集中しにくさが生じる点については、グループ分けや空間の使い方を工夫し、活動内容に応じて少人数で取り組めるよう環境を調整していく。 ・絵り絵や制作に偏りがちな内容については、運動・感覚・言葉・音楽など様々な要素を取り入れ、活動のバリエーションと選択肢を増やすことで、子どもたちの関心や意欲をより引き出せるよう取り組んでいく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 3 月 27 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		・清潔を心がけてはいるが、細部の見落としがある為、ダブルチェックし常に清潔を心掛ける。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	職員の人数が少なかったり、児童の人数が多かったりすると、やむをえず指導員が少数でも回していけるようなものになりがちである。職員それぞれが日頃から活動に関するアイデアを収集している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	2		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		